

雪国生まれの麻織物

小千谷縮





小千谷縮

おぢやちぢみ

1200年の歴史を誇る越後上布。その越後上布を技術改良して誕生したのが小千谷縮です。
苧麻(ちょま)100%で織り上げ、手湯もみで皺加工を施したシャリ感が特徴の涼やかな反物です。





染

いおの
伊乎乃 染色工房



図案・型紙彫り・米粉糊伏せ・
手描き友禅による染色、発色
と定着を促す蒸し作業、のり
落とし水洗、テンター仕上げ
など小千谷の工房にて行って
います。

のれん、タペストリーなど
美しく表情豊かなインテリア
が誕生します。



アザヤリ

ものづくりの現場である工房を併設した
ショップを構えております。



麻・綿・絹 . . .

様々な素材・色で季節を楽しむアイテムをご提案します。
お土産やギフトにもおすすめです。

小千谷の見どころ・食べどころ



へぎそば

そばのつなぎに「布海苔（ふのり）」という海草が使われているのが特徴です。「布海苔」は元々小千谷縮を織る際に糸の糊付けに使用していたもので、織物のまちならではのそばといえます。へぎそばの由来は、「へぎ」と呼ばれる器に盛り付けすることから。



錦鯉発祥の地

泳ぐ宝石とも謳われる錦鯉。初めて出現したのは19世紀前半の江戸時代。新潟県の二十村郷（現在の小千谷市・長岡市の一部）で、食用として飼われていた鯉に突然変異で色がついて現れたのが最初といわれています。



世界一の四尺玉

三尺玉発祥の地として知られる片貝の花火は、江戸時代後期からの歴史があります。昭和60年には四尺玉の打ち上げにも成功し、ギネスブックに掲載されるなど、名実ともに世界一の打ち上げ花火として知られています。



牛の角突き

越後の角突きは、引き分けが原則。興奮した牛を引き離す勢子の妙技や勇姿も見応えがあります。「ヨシター」という勢子の掛け声が飛び交い、牛同士がぶつかり合う迫力満点の地域の伝統行事です。



風船一揆

2月下旬、日本を代表する熱気球大会「日本海カップ・クロスカントリー選手権」を兼ねたイベントです。夜には気球の上空に花火が打ち上げられる「グローバルーンフェスティバル」も実施され、色とりどりの熱気球は必見です。



布ぢやみ 本店

営業時間 10:00 ~ 17:00 〒947-0005 新潟県小千谷市旭町 11-4
 TEL: 0258-82-3213 E-mail: mizuta@iono.jp
 オンラインショップ <https://ojiya-chijimi.jp/>
 企画・デザイン・製造 水田株式会社



IONO 古町ルフル店

営業時間 10:00 ~ 18:00
 定休日: 水曜日
 〒951-8063 新潟県新潟市中央区
 古町七番町 1010 古町ルフル 1 階
 TEL: 025-201-8686

